

第5次川島町総合振興計画後期基本計画（案）にかかる町民コメント制度の状況について

【実施期間】 平成28年1月27日～平成28年2月19日

【意見を提出できる方】 町内在住、在勤、在学のかた

【提出方法】 メール、郵送、FAXで提出

【平成28年1月27日～平成28年2月15日までに寄せられた意見】

- ・ 提出者数 1名
- ・ 提出件数 4件
- ・ 提出意見と町の考え方

NO.	提出意見	町の考え方
1	<p>河川の整備について 市野川が冠水し、増水する量もかなり多くなっています。松永堰を自動で開閉できるように改良したり、土手のかさ上げも必要かと思えます。常総市の水害の例もあることから、周辺を川に囲まれている川島町は水害防止、水害避難対策に積極的に取り組む必要があると考えます。</p>	<p>川に囲まれた川島町は、治水対策が重要な課題であり、引き続き河川の整備を進める必要があります。第2章 第4節 基本施策1 河川の整備（P63）において、一級河川の整備・促進に取り組み、国・県へ治水対策を重点的に整備するよう要請していきます。 水害避難対策については、第6章 第5節 基本施策3 災害に強いまちづくりを推進（P130）において、水防体制の強化に取り組みます。</p>
2	<p>定住促進プロジェクトで新規特産物の普及も必要と思えます。又休耕田や荒地を利用して高齢者で家庭農園程度の規模でも出来る農産物の栽培で、町興しが出来る甘藷（薬草）その他珍しい農産物の栽培等の研究と普及が必要です。青森、新潟、では吹雪体験ツアー、屋根の雪下ろしツアー、等々取り組んでいます。川島町も地域の特性を活かし、朝市を利用して農産物の収穫販売ツアー、例えば各農家に宿泊していただき農業の6次産業全てを経験していただくetc、又町営の観光農園を開設し朝市を利用により、農業の6次産業の経験etcの取組。その他創意と工夫で町興しを真剣に取り組む必要があると思えます。</p>	<p>農業については、リーディングプロジェクトとして位置づけ、「地域産業の活性化と雇用の創出」（P25）を基本目標として掲げ、計画的に推進していきます。 6次産業化、朝市の拡充については、第4章 第2節 基本施策1 農業の活性化と担い手の確保（P86）において、取り組んでいきます。 観光農園については、第4章 第5節 基本施策2 新たな観光資源の発掘と交流の創出（P94）において、取り組んでいきます。</p>
3	<p>交流・転入促進プロジェクトとしてシングルマザーを募集しあき家や仕事を斡旋、養育の援助等により定住していただくなど取り組んでいると思えますが方法を変えて、一泊で日常生活を体験していただきながら合コンを薦めるetc…これは役場行政だけでなく町民全体で協力的に取り組む必要があるかと思えます。</p>	<p>交流・転入促進については、町民全体での協力的な取り組みが必要かと思えます。結婚支援や子育て支援策については、リーディングプロジェクトとして位置づけ、「若い世代が魅力を感じる子育て支援の充実」（P24）を基本目標に掲げ、計画的に推進していきます。 又、リーディングプロジェクトの「人を呼び込む観光・交流の活性化」（P27）において、町内外への積極的なタウンプロモーションの展開によって川島町の魅力をPRし、移住・定住促進につなげていきます。</p>

4	<p>生活基盤充実プロジェクトとして前記の様に河川の整備と水害避難対策と道路の整備が待ったなしです。インター周辺に大店舗、大型倉庫、工場が進出して賑わっていますが、254より農業振興地域はヒツソリとし過疎に近い状態です。その反面大型トレーラ、大型トラック、ダンパーが頻繁に通過する様になりあちらこちらで渋滞し、生活道路にまで大型車が迂回して来ます。又大型車の輪軸が出来て軽自動車はハンドルが取られ運転し難くなっています。大型車の通行規制箇所等を設定し、住民の安心、安全の町づくりが必要かと思ひます。</p>	<p>第3章 第6節 基本施策4 生活道路の整備 (P78) における計画的な生活道路の整備及び基本施策6 道路環境の整備 (P79) における交通安全施設の整備において、検討してまいります。</p>
---	---	--